

WEEKLY SIGNAL

2020年6月26日(金) 1530号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	6/29(月)	6/30(火)	7/1(水)	7/2(木)	7/3(金)
無担保O/N			△ 0.087% ~ 0.001%		
銀行券	△ 1,200	+ 500	ト ン	ト ン	△ 1,000
財政他	△ 37,400	+ 20,300	△ 22,000	△ 33,000	△ 25,000
資金需給	△ 38,600	+ 20,800	△ 22,000	△ 33,000	△ 26,000
主な要因	国庫短期証券発行・償還(3M)		国債発行・償還(2年)	法人税・消費税・保険揚げ	国債発行(10年)
オペ期日	共通担保資金供給(△) △ 2,300 CP等買入 △ 200 国債補充供給 + 100				米ドル資金供給用担保国債供給 + 35,500
オペスタート	国債買入 + 6,700 共通担保資金供給(△) + 1,900 社債等買入 + 2,000	CP等買入 + 6,000			
(日本)	小売売上高(5月)	有効求人倍率(5月) 完全失業率(5月) 鉱工業生産(5月)	短観(2Q)	対外・対内証券投資(6月21日-27日) マネタリーベース(6月) 営業毎旬報告(6月30日現在)	
(海外)	ユーロ圏 景況感指数(6月) ユーロ圏 消費者信頼感指数(6月)	米 消費者信頼感指数(6月) ユーロ圏 CPI(6月) 英 GDP(1Q)	FOMC議事要旨(6月9、10日開催分) 米 ADP雇用統計(6月) 米 ISM製造業景況指数 ユーロ圏 製造業PMI(6月)	米 雇用統計(6月) 米 貿易収支(5月) 米 新規失業保険申請件数 (6月27日終了週) ユーロ圏 PPI(5月) ユーロ圏 失業率(5月)	ユーロ圏 総合PMI(6月)

<インターバンク市場>

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	△0.030 ~ 0.030
SPOT 2M	△0.020 ~ 0.040
SPOT 3M	0.000 ~ 0.070
SPOT 6M	0.000 ~ 0.130

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、437兆5,600億円から始まり、23日までに国債・国庫短期証券買入を主因に438兆円台まで増加した。25日には新型コロナ対応金融支援特別オペを要因として同残高は443兆7,000億円となった。週末となる26日には米ドル資金供給用担保国債供給の期日の影響を受け同残高は過去最高となる447兆3,600億円まで増加した。

無担保コールON物加重平均金利は、先週に引き続き大手中心の調達となり22日まで△0.045~△0.042%のレンジで推移した。週末となる26日は、一部で調達ニーズが高まったことで、同金利は△0.038%となった。

ターム物は1W物を中心に△0.08%~△0.05%の水準で取引された。

25日には中小企業等の資金繰り支援のための「新たな資金供給手段」を一体的な形で新型コロナウイルス感染症対応金融支援特別オペが初めてオファーされ、8兆2,784億円が落札された。

<オープン市場>

CP3M(a-1+)	△0.01 ~ 0.00
TDB 3M	△0.130 ~ △0.085
現先(on/1w)	△0.04 ~ 0.00

<C P>

今週の入札発行総額は約 1兆2,200億円で、週間償還額(約2兆4,400億円)を下回った。月末の大量償還(1兆9,900億円)に対し、一般事業法人は四半期末決算の残高調整を行い、新規発行は5,500億円弱に止まった。24日に市場の発行残高は過去最高の25兆1,380億円強となったが、月末残高は大幅に減少し24兆円を割り込むと思われる。発行レートは、浅いマイナスから0%近辺での出合いが中心であったが、発行の少ない一部銘柄では積極的な応札も見られた。26日に、CP等買入オペが予定通り6,000億円でオファーされ、結果は按分レート△0.003%(前回△0.010%)・平均落札レート0.000%(前回△0.006%)と前回比上昇した。

来週の週間償還額は、約3,700億円となっている。決算明けでの発行再開が見込まれ、取引は活況が見込まれる。発行レートは、0%近辺の横ばい圏内の出合いを予想する。

<TDB>

26日の3M918回債(9/28償還)の入札は、最高落札利回り△0.0902%(同△0.1020%)、平均落札利回り△0.0946%(同△0.1071%)となり、入札後△0.093%で出合いが散見された。そのほかセカダリーでは3M917回債(9/23償還)は24日までは△0.105%程度で取引されていたものの、週末にかけて△0.095%まで売り向かう動きが見られた。また同914回債(9/14償還)は△0.134%、同912回債(9/7償還)は△0.11%~△0.13%、1Y916回債(6/21償還)は△0.228%~△0.23%のレンジで取引された。

<レポ>

足許GC取引は週初△0.06%近辺から始まり、週後半まで同水準で推移した。国庫短期証券の発行があった29日受渡しは、△0.05%台で多く取引された。SC取引は2年409~413回債、5年137~143回債、10年336~358回債、20年168~172回債、30年59~66回債、40年12回債などに引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。